

生物の移り変わりと進化

進化の証拠

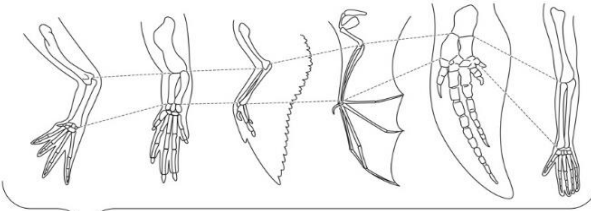
進化 生物が長い時間をかけ変化し、新しい生物が生じるような変化

化石の出現順で考えると

魚類→両生類→は虫類→ほ乳類・鳥類 の順に進化したと考えられる

生活の場 水中 → 陸上 に

カエル ワニ スズメ コウモリ クジラ ヒト



骨格の基本的なつくりが似ている

相同器官 もともののつくりは同じだが、現在ははたらきが異なる器官。

始祖鳥



見た目は鳥類だが
歯やつめなどの
は虫類の特徴も持っている

生物の移り変わりと進化

動物 魚類→両生類→は虫類→ほ乳類・鳥類 の順に進化したと考えられる

植物 コケ植物・シダ植物→裸子植物→被子植物

ほ乳類の化石は

古生代以前には

出てこない

生きている化石

大昔の生物に

近い特徴を持つ生物

進化していないと

考えられる

(例)

シーラカンス

カブトガニ